

令和5年度 高知県文化芸術振興ビジョン評価委員会（第1回） 概要メモ

日時：令和5年9月4日（月）14:00～15:30

場所：高知県立高知城歴史博物館 ホール（高知市追手筋2丁目7-5）

出席者：＜委員＞

宮田委員長、川鍋委員、小林委員、谷委員、都築委員、西田委員、松本委員、
吉澤委員

＜事務局＞

＜議題＞

（1）高知県文化芸術振興ビジョン行動計画について

＜意見交換＞

委員	<p>文化人材育成プログラムや地域学芸員養成講座、歴史資料調査隊養成講座など、様々な講座を実施されているが、講座を受講された後、実際にそこから文化施設で活躍の場がなかったり、今年度のKAP助成の応募数が13団体とかなり激減しているなど、講座の受講だけで育成していない可能性がある。講座を開催するだけでなく、受講生のうち、具体的に企画を考え実践するまでを一つとしたプログラムを考えたほうが良いのではないかと思う。</p> <p>KAP事業については、応募のあった13団体全てが採択されているが、本当に地域×アートという要件を満たしているのかと思う事業が見受けられた。数値目標を達成するための事業になっていないか。</p> <p>現在アーツカウンシルの担当は専任でいるのか。そこが1番心配に思う。</p>
事務局	<p>まず1点目の人材育成の講座について、ご意見のとおり講座を受講された方が現場で活躍する場を設けるなど出口の部分が大変重要に思う。今年度になるが、文化人材育成プログラムでは、これまで基礎編のような、講座を受けるといことが主となっていたが、受講された方が実践する場を設ける実践編というものを実施したいと考えており、実際にイベントを開催するにあたっての企画や周知、収支計画等について実践に繋がるような講座を開催したいと考えている。</p> <p>2点目のKAP事業について、特に大きなルールとしてあるものではないが、同じ団体に対し3年程度を目途に支援をさせていただいている。本来であれば助成がない状態で自立して活動することが望ましい形だと考えており、今年度は、一定助成を継続された団体が自立されたのか、県以外の市町村の助成を活用されたのか分からないが、次の段階に入った団体がこのタイミ</p>

	<p>ングで多かったのではないかと考えている。</p> <p>ただ、団体への声かけや周知が十分であったかという点もあるため、今後そういった団体への周知活動を引き続き行っていきたいと考えている。</p>
事務局	<p>アーツカウンシルについては、担当職員として1人雇用している。ただ、アートに関する素養や引き継ぎの面で立ち上がりに時間を要している。いずれにせよアーツカウンシルという機能については、委託事業の中で文化財団にお願いしているところであり、専門的な人材や文化団体との間を取り持ち、活動の場を調整できるようサービスの維持に努めていきたい。</p>
委員	<p>KAP 事業の上限額は 30 万円だが、30 万円のできる活動は限られている。助成から次のステップへのハードルがとても高い。地域の中で人材を育てていく助成プログラムが、3 年でいきなり手放すということはかなり厳しいように思う。</p> <p>継続的に人材を育てていけるような 30 万円枠と、50 万円枠をつくり、30 万円枠で 2 年間続けた方は 50 万円枠、4 年目は 3 分の 2 助成にするなど、助成する金額を徐々に減らしステップアップできるような事業にすると良いと思う。文化財団では 50 万円枠で 3 分の 2 助成というものもあるが、そこに応募する団体と KAP に応募する団体は企画力や実践力に差があるように思う。文化財団の助成と KAP 事業とのさび分けや、繋がりを立てて枠を考えたほうがいい。</p>
事務局	<p>助成面については、県や文化財団、その他団体によって色々なメニューがあるため、そういったことも総合的に整理しながら、今後検討していきたいと考えている。</p>
委員	<p>このアートプロジェクトは最初 50 万円だった。先ほど意見に出たように、きちんと吟味し、良い団体に本当に効果があるような使い方をしていくことが 1 番重要だと思う。ここは違うというところは却下するといったもう少しメリハリをつけたお金の使い方をしてほしい。</p> <p>アーツカウンシルの話が出たが、何か尻すぼみ感があると感じている。スタッフ確保の問題も含め、尻すぼみ感があるので気合を入れてやっていただきたい。</p> <p>先ほど人材の話が出たが、例えば県史編さん事業などの課題として、執筆や資料調査に従事できる人材が不足しているとあり、職員の採用条件を見て、5 年間で終わりとなるとその後の自分の仕事はどうなるのかという思いもあるのではないかとと思う。例えば、大学と連携する等、採用条件も含め、</p>

	<p>継続的にその人の立場を保障できるようなものがあれば良いと思う。</p> <p>「とさぶし」は、非常に良い冊子だと思う。課題として20代30代のアプローチが十分でないと書かれているが、広く知られている文化だけでなく、マニアックな文化を取り上げてほしい。例えば、先日の奥物部湖湖水祭のような高知の広い文化を取り上げてほしい。昔は月刊土佐という雑誌があり、オーテピアでバックナンバーが読めるので、参考にしている。とさぶしも、マニアックなものやニッチなものを含めた冊子にしてほしい。</p>
事務局	<p>県史を通じた人材育成について、一つは、広く調査ができる人材を育成しており、現在、資料調査隊として写真撮影や、簡単な字を拾って活字にできるといった人材の育成を進めているところ。実際に、県史の編さん作業で養成講座を修了された方に参加していただいている。一方で事務局体制の強化については、当然各会ごとに担当者をきちんと配置し、調査の先導役としてしっかり取り組んでいきたい。</p>
事務局	<p>とさぶしについては、年4回発行で、その都度編集委員のご意見も踏まえてテーマを決めており、先ほどご意見いただいた一部の方がとても興味があるようなテーマについても、検討の一つの素材として整理させていただきたい。</p>
委員	<p>20ページの民俗芸能の保存活用の支援では、土佐の伝統芸能フォトコンテストを開催されるということだが、フォトだけでなくビデオも募集した方が後々活用しやすいと思う。先日、西畑の人形芝居の写真を撮りに行ったが、写真の他にビデオを撮っている方もいて、ビデオの方が利便性が高く良いと思った。もう一つは、Facebook等で鍛冶や備長炭、和紙などの伝統工芸をテーマに写真を撮られている方もいるので、土佐の伝統工芸・芸能、映像コンテストという少し間口を広く募集し、それを継続していくとかなり良いものが残っていくと思う。</p> <p>14ページの朝倉の戦争遺跡については、弾薬庫などの保存が進んでいると思うが、朝倉城にある高射砲の跡や塹壕の痕、近くに陸軍墓地や歩哨地があるので、戦争遺跡地図みたいなものを併せて作ってほしい。</p>
事務局	<p>土佐の民俗伝統芸能フォトコンテストは初めての取組。伝統文化まつりは1日の取組であり、開催に向けた稽古や地域での盛り上がりを含めたものがあるが、それをどのように広く繋げ、県民の皆様に伝統芸能を知っていただくのかという視点で、今回初めて設けることとした。コンテストのため、受賞作を決めた上で公表していく形を考えているが、映像については検討が進</p>

	<p>んでいないため、参考にさせていただきたい。</p> <p>工芸全般に広げていくという考え方は元々文化財から話が始まっているが、文化財に指定されていない土佐の暮らしや文化、そういった幅広いものも工芸が裏打ちされているので、そこについては所管課とも相談していきたい。</p> <p>44 連隊跡地の保存活用の中で、戦争遺跡が朝倉地区に点在しているものを分かりやすく表現してはどうかというご提案について、これまでも先ほどお話のあった陸軍墓地以外の場所も含めて、地域の皆さんに教えていただき一定リストアップはしている。この 44 連隊の跡地の活用の中で、そうした場所を巡っていただき、朝倉地域の近代の歴史全体を知ることができるような仕組みを、この整備の中で考えていきたいと考えている。</p>
委員	<p>高知県民の戦争との関わりなど、是非その辺りを詳しく議論していただきたい。</p>
委員	<p>配布されている土佐の伝統芸能まつりのチラシについて、色々な団体が集まってステージに出てくれると、見に行きたいと思う人は大勢いると思う。また 1 日楽しめるような内容であったら良いと思う。これについてもう少し詳しく説明いただきたいが、例えば子どもたちが体験ができる何らかのお土産があるとか、行ってみたいと思えるようなものを考えているのか説明していただきたい。</p>
事務局	<p>配布しているチラシは第 1 稿のため、第 2 稿では支援団体を含めた詳細なものを配布しようと考えている。この伝統芸能まつりについて、令和元年度から 3 年度にかけて民俗芸能緊急調査を実施してきた。江戸時代から明治大正昭和、戦後間もなくまで、多くの芸能が伝承されてきたが、高度経済成長以降多くの芸能が衰退し、特に近年では新型コロナウイルスの感染流行ということもあり、活発にされていた芸能も休止している。そういった実態が明らかになってきたため、この伝統芸能まつりを実施し、地域で伝承されている文化を広く知っていただこうと考えた。また、高知市出身だと、神社のお祭りでも伝統芸能に触れる機会がほとんどない。そうした県民の方も多くなか、このイベントで伝統芸能を知り、一緒に地域の課題を感じていただこうということで始めた事業。子どもたちが体験できるものとしては、民俗芸能の衣装の試着等の体験コーナーを現在考えており、芸能保存会の方々もお話できるような機会や、地域の暮らしなどが実感として伝わるようなものになりたいと考えている。</p>

事務局	<p>補足だが、楽しい場になったら良いという話があったと思うが、体験コーナーはもちろん、会場は丸の内緑地が中心となり、日曜日を含めて観光客の方も多くいらっしゃるエリアのため、できるだけ誘客に繋がる仕組みを考えている。帯屋町アーケードでの伝統芸能のパレードや、高知城歴史博物館前のステージ、追手門辺りでも伝統芸能の任意のステージを行うことも検討している。また、当日は会場内において土佐の伝統食についても一定楽しんでいただけるように考えており、元々伝統芸能に興味関心のある方だけでなく、これまで余り知識がなかったという方もここで知っていただき、高知県にはこういう伝統芸能があるんだと思っていただけるよう、パネルディスカッションのようなことも考えている。伝統芸能に対する支援の必要性などについても、市民県民の皆さんに知っていただける機会にしたいと考えている。</p>
委員	<p>まだ中身はきちんと決まってないと思うが、広報は全くされてないのか。</p>
事務局	<p>チラシやポスターの掲示については、道の駅や関係機関等に配布する準備を現在進めているところ。また、県の広報媒体の活用や、民間企業の皆様の支援をいただき、10月開催の直前にはなるが、テレビCMでの周知を行う準備をしている。時間がないが、色々な方法を活用して広報に努めたい。</p>
委員	<p>もっと早く知っていたら行ったのということはいよくなりがちなので、できるだけ早めに広報していただき、第1回と銘打っているので継続できるようにぜひお願いしたい。</p>
委員	<p>広報について、若い世代に知っていただくことが結構重要だと思うので、InstagramやFacebookのストーリーズなど、若い人たちの目に触れやすいような媒体の活用や、伝統芸能の写真は本当に格好いいと思うので、その写真をできるだけ活用するなど、短い期間だと思うが頑張してほしい。</p>
委員	<p>若い人は伝統芸能というと敬遠すると思うが、キッチンカー等があると来ると思う。特にそういったところをきちんとFacebookやInstagramに流すと良いと思う。</p>
委員	<p>既に指摘があったものもあるが、助成制度のところは気になっており、申込団体数が減少しているのはとても問題だと思う。こういう分野は、単純に3年間で自立してくださいといったことができる領域ではなく、人材育成と同じことなので、同じ団体に対する助成でも、事業内容を変えることによって次の3年間も助成できるような形にするなど、ステップアップしていくと良いのではないかと。申込者が減ると助成事業をやめるという話にもなるの</p>

で、ここは少し工夫していただきたい。

アーツカウンシルだが、今全国的に非常に問題になってると感じている。東京オリンピックに向けて文化芸術を盛り上げるために全国に広がったが、なぜ今この地域に作らないといけないのかを本質的に考えられていなかったのではないかと思う。高知県は、高知県の課題を解決していくためにつくられたものだと思うので、良い形で繋いでいく方法を丁寧に考えてほしい。

伝統芸能まつりは非常に良いと思っており、フォトコンテストに映像をとというのもとても良いと思うが、1か月前でこの段階だと広報が遅過ぎる。良いことを始めるのに、1回目あまり成果が上がらなかったから2回目はやめるということにならないか心配している。今からでも頑張ってください、魅力ある伝統芸能まつりを成功させてほしい。

また、フォトコンテストの映像の話がとても気になっている。例えば全国的に少子高齢化で伝統芸能の継承者がいないといった問題があり、その際に重要なのは、単なるイベントとして単発的に終わらせてしまうのではなく、何かを残していくということを視野に入れるということがとても重要だと思う。伝統芸能などは無形のものなので、後継者がいなくなると存在がなくなるが、こういった祭りやフォトコンテストなどを通じて、記録を残していくことを視野に入れたらどうか。そうしなければ、ふと気づいた時には人がいない、記録も何も残っておらず何が行われていたのか分からないといった状態になる。高知の場合は、高知城歴史博物館で、様々な地域に入りその地域の文化を書き起こしていくという活動をされており、前から評価しあちこちに宣伝している。書き起こし、残しておけるものはいいが、そうでないタイプのものも多くあるので、それをどのようにやっていくのか考えると良いと思う。

全体的なイメージだが、歴史や文化、伝統芸能等を守っていくといった動きは高知県にずっとあり、博物館を多くつくってきていることも含め、とても手厚いと感じる。ただ、創造的、クリエイティブなものであったり、新しいことをやってみるといった、エネルギーのようなものがあまり見受けられない。若い世代はそういった新しいものに飛びつくところがある。高知でそういった体験ができることは、高知を好きになったり高知に帰ってくるきっかけになるなど、重要なポイントになると思う。他県の事例で言うと、講座や部活動などで、非常に優れた人に1年間を通じて、高校生を対象に何か演劇やワークショップのようなものを実施、作品を一つつくり上げるといった

	<p>取組があり、そういった経験をすると、それだけで高知県ありがたいといった気持ちになる。未来の高知県好きや、高知県に帰ってくる人が、新しいことを通じて取り組んでいくといった視点がもう少しあると良いと思っており、それができるのが KAP 事業なのかなと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>土佐和紙職人や、和紙の原材料が少なくなっている。それについて、第2期土佐和紙総合戦略には、学校教育において、土佐和紙がどのように作られてきたかということなどを伝えていくことが重要という文言や、文化芸術に触れる機会を通じて子どもの頃から土佐和紙に触れ、その仕事をする人材をつくっていくといったことが書かれているが、実際に具体的に施策として上がってきている中にはそういったことが全くないため、途絶えてしまうかもしれない。和紙職人を育てるとするのは直近の課題として必要だと思うが、ゆくゆくのことを考えると、今から育てていく子どもたちにいかにそういったことを体験させ、伝えていくということにも重きを置かなければならないと思う。</p> <p>例えば私が知っているアーティストは、いの町出身でパフォーマンスをしている方で、ご実家が製紙工場ということもあり、和紙業界全体を繋げていきたいという思いから、年間を通じて県外や海外からアーティストを呼び、子供と一緒に和紙を使用した作品作りや、和紙をテーマにした作品作りを行っており、それを発表して見てもらうといった体験を夏休みに行っている。このように、文化芸術からアプローチをしている人もいると思うので、工業や産業、その他の分野も絡めるということも前提に考える必要がある。土佐和紙総合戦略を考える会議には、そういった視点の方はいないので、アーティスト目線、文化技術への支援といった視点でしか出てこないアイデアを入れることも重要だと思う。また、先ほど話にもあったが、新しいものがつくり出されていくということは、古いものと新しいものを繋ぎ合わせて作るということではないかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>県立文化施設が教育普及活動をされているが、美術館や博物館等に来てもらって実施するというやり方だと、特定の熱心な父兄や、ある程度文化に関心が高い層の人たちが繰り返し来るだけになる。香美市立美術館では年1回、香美市全ての小学校7校の4年生をターゲットにワークショップを行っており、普段学校の授業や先生以外で、芸術に関わる大人に触れることがない子供たちと直接対面し、色々な経験をさせている。教育現場そのものに全く余裕がないため、年1回1時間の時間を取ってもらっただけでも交渉に</p>

大変な努力が必要になる。特に、学年により生徒、クラス数にばらつきがある場合は、授業で分けて中途半端にしかできない学校もあり、実施して思うのは、小学校は美術を担当の先生が教えているため、せめて美術、音楽、体育など、そういう科目に関して専門の先生が派遣されるような仕組みができないものかと思う。

現在小学4年生はデジタル化が進み、各自タブレットを持っている。その扱いを見ると、彼らはもうデジタルの世界で生きているということを実感する。現に、高校の美術の生徒は、絵の具と筆で絵を描かず、デジタル空間で絵を描いている。国際的にそういった芸術家の方も多く、ネットの中だけで作品として成立している作家の方もどんどん増えている。今の小学生から見ると実物に触れる経験が少なく、それが非常にマイナスだと思う。先ほどの意見にもあったが、紙漉きのように物に直接触れる体験と、子どもにデジタルで指導できるような人材を小学校の現場に派遣して教育していくことが重要だと思う。デジタル化のスピードはものすごい勢いで進んでいる。現在10歳の小学4年生が、後10年経つと担い手になるので、この10年が勝負だと思っている。

また、オールドパワー文化展は60歳以上が対象だが、今の60歳は非常に若い。映像の話も出たが、今はスマートフォンで映像を撮る時代なので、いわゆる日本画や、洋画、彫刻、書道、写真など、今までどおりの区分けに当てはまらないような表現をしている、人数的にも多い層があるのにも関わらず、受入れ先がないといった、全てが少し現実からずれていっているような感覚がある。そのため、今後育ってくる子どもたちや、ご高齢の方もそうだが、デジタル化というのは単に社会に直接関わってる20代から40代の人たちだけの問題ではなくなっているのではないかと思う。それで今すぐどうなるということではないかもしれないが、何かそういう認識のもとで、一つ一つ縦割りではなく、全部繋がっている問題という意識を持ってやっていただきたい。

西田委員

これは単なる要望だが、46ページのよさこいを活用した情報発信について、今年もよさこいチームの国内外派遣ということで、台湾ランタンフェスティバルというものがあり、なかなか面白いところへ行くなと思った。自分たちも行きたいと思うので、正規チームを派遣する場合には一緒に応援団を募集し、文化交流、国際交流を図るということをお願いしたい。

吉澤委員

38ページのデジタル技術の効果的な活用のところで、SNSでの情報発信

があるが、Instagram などの SNS の活用については重要だと思う。例えば、歴史民俗資料館が YouTube 登録者数 8 というのはいかがなものかという点もあるが、神楽やそういったものを動画で収め YouTube で公開することは絶対にあつた方が良くと思う。保存の仕方や公開の仕方というのはこれから非常に広がりやすいと思うので、ぜひそういう取組を色々な施設でやっていただきたい。

また、今高知の高校生の文化の中で一番元気があるのは軽音で、先日全国大会に出た生徒もいるなど、非常にレベルが高い。軽音祭や、今月開催される Lalala 音楽祭の高校の部に出てもらっているので、活動が活発になるよう目を向けていただくことや、そこに助成していただくといったこともお願いしたい。

宮田委員長

よさこいについて担当部署が違うが、文化生活スポーツ部とすれば県外あるいは国外の情報発信というのが中心なら当然だと思うが、その一方で高知県内のチームがかなり減少している。コロナの影響で一過性のものと思うが、今までと違う状況もあるのではないかという点を心配している。また、追手筋の栈敷席の観客が昼間は誰もいない。カンカン照りで天幕もないので誰も行かないのではないか。天幕を張らないのかと前から思っているが、一向にそれをしない。これはもちろん市がやることで、よさこい祭り振興会が考えるべきことだが、県もよさこい祭り振興会のメンバーのため、部署は違うが、ぜひそこは考えてほしい。

先ほどから高知へ若い人をといる話が出ているが、今年を見ると高知大学や工科大学で踊ってた大学生が県外へ就職し、そこでよさこいを立ち上げて高知へ帰ってくるといったチームが結構ある。あるいは高知で勤務していた人が県外に帰り、向こうで立ち上げて帰ってくるといった形の交流がどんどんできている。その一方で、高知のチームはお金がなかったり、商店街が衰退するなど、チームが増えていかないという状況があるため、部署が違う話だが、何かの機会があればそういうこともぜひ意見として言っていただきたい。

これも市に言うべき話かもしれないが、西敷地の問題について、毎週土曜日にオーテピアの前に車が並んでいる。駐車場が少ないため入れず、子どもを連れてお母さんが子どもを先に図書館へ入れ、駐車場が空くまで待っており、なぜあの西敷地に停めさせてあげないのかとずっと思っている。もちろんイベントをやる時はいけないが、土曜日だけ解放するなど、駐車場待ちに

	<p>オーテピアで何台も並んでるのを見て何も思わないのか非常に不思議に思う。これも市がやることだが、オーテピアは元々市と県が作った図書館なのでそこは県からも働きかけができるのではないかと感じている。</p>
<p>松本委員</p>	<p>障害がある方の文化芸術活動支援について、文化施設では、出前授業や教育普及活動で学校等に行かれたりしているが、県民文化ホールは特別支援学校に行ったことがあるということを聞いたことがある。特別支援学校の生徒は美術館等へ行くということが本当に難しいので、ぜひ毎年1回1校だけでもいいと思うのでそういった機会を設けてほしい。今年度県民文化ホールが発達障害、知的障害の子が劇場体験をするという企画を一緒にやってくださることになり、今回初めて発達障害の子が劇場に行き、大きなホールで体験することができるのではないかと考えている。やはり劇場や映画館、美術館を体験するということがなかなか難しい。保護者の方が休みの日にそういった場所へ行くということは非常にハードルが高く、保護者が人目を気にし、ショッピングモールですら行くことを憚られるということが多かったです。なので、先ほど意見に出たように、そういった普段あまり行く機会のない子どもたちが行ける機会を、ぜひアウトリーチ活動でしていただいたり、発表の機会を自分たちではつくることのできない障害のある出演者の方がいるところにも声かけをしていただけるとありがたいと思う。</p>
	<p style="text-align: right;">以上</p>